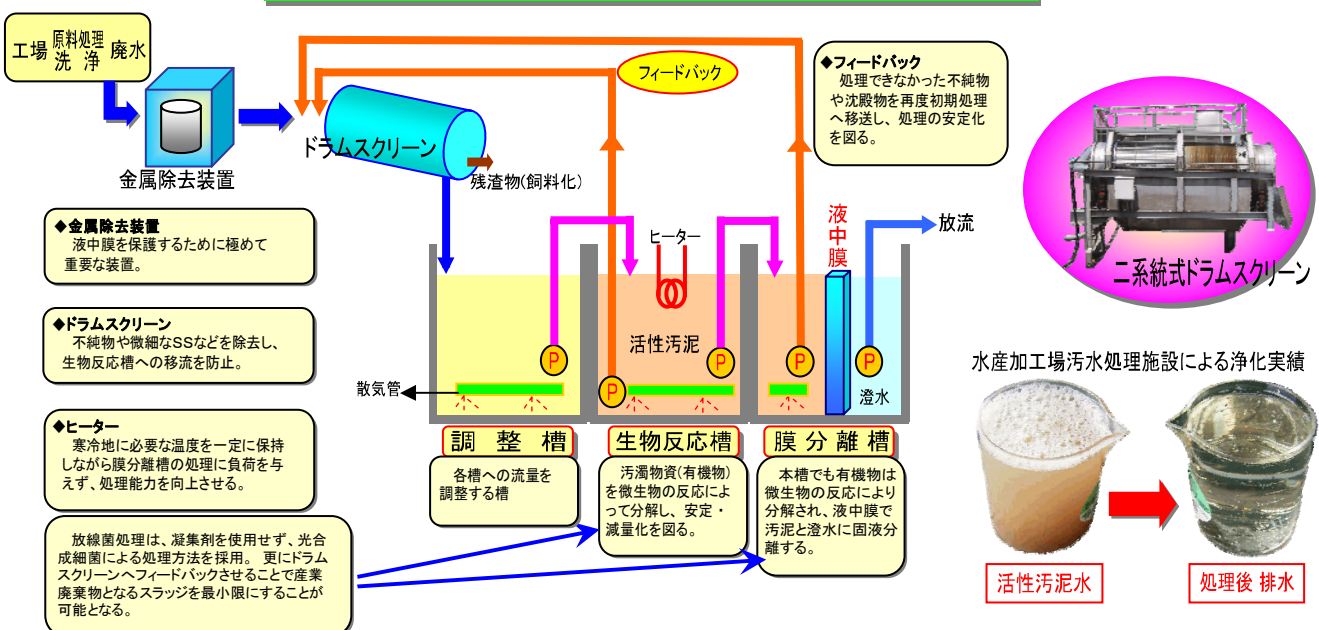
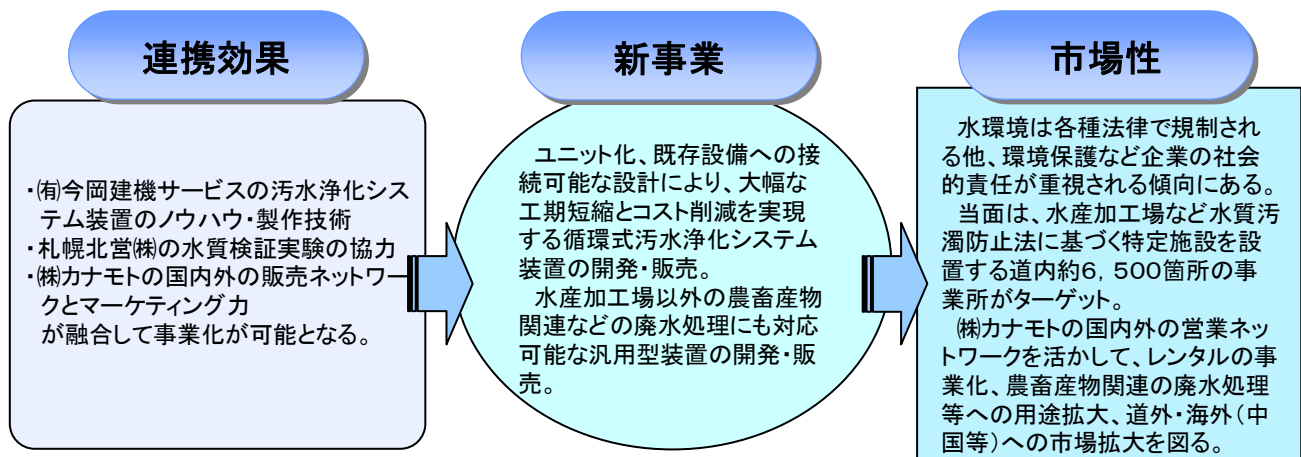
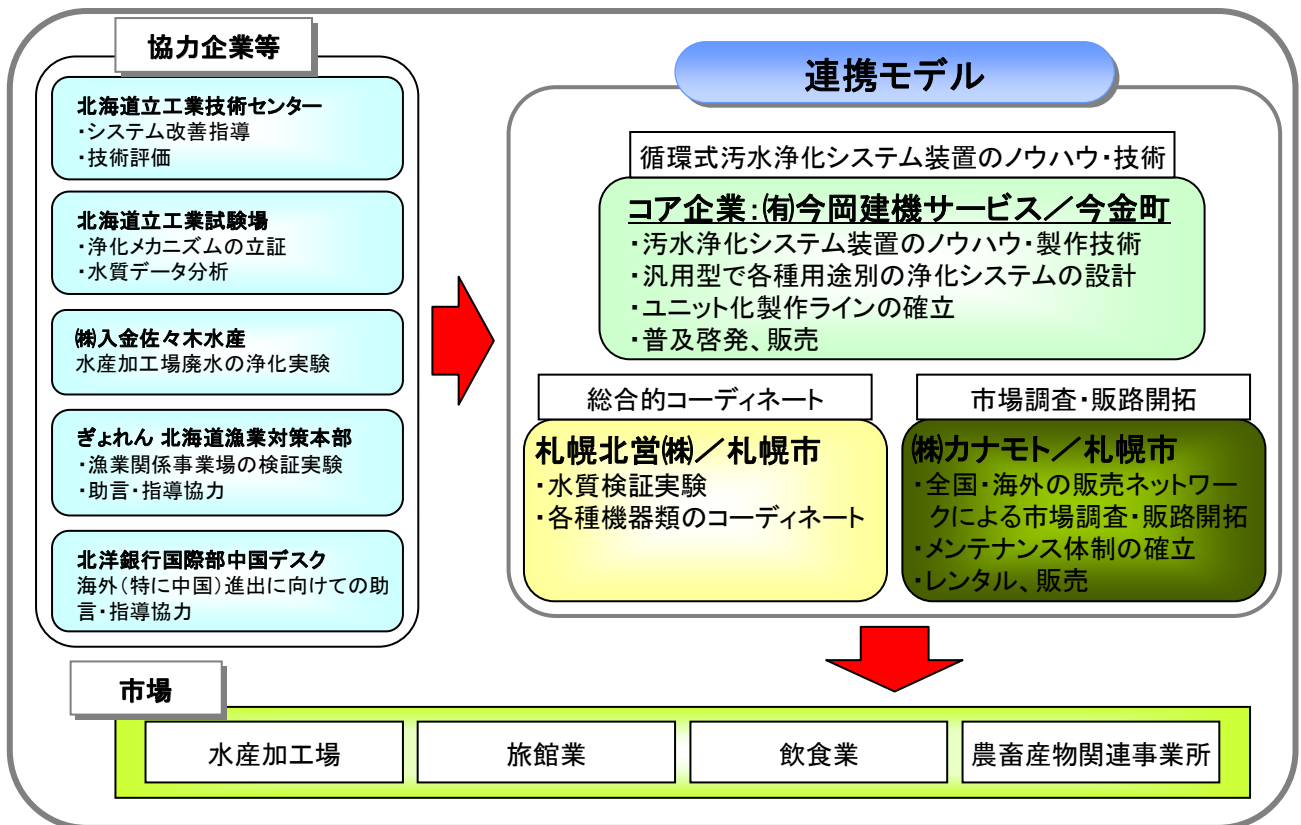


事業計画の概要：循環式汚水浄化システム装置のユニット化開発による新たな市場開拓
 ～水環境の保全と安心で安全な生活環境の創出に向けて～

1. 今金町の後志利別川は、過去7回も国土交通省が認定する「清流日本一」として輝いた一級河川。流域の工場は浄化処理を行った上で川へ排水しているが、漁業の水揚げ繁忙期においては排水処理能力を上回り、水質や生態系に影響を及ぼす場合もあった。(有)今岡建機サービスは水産加工場からの依頼を受け、試行錯誤を重ねた結果、循環式汚水浄化システム装置の開発に成功した。
2. この装置の技術的特徴は、①曝気槽中で膜を利用して活性汚泥と処理水を分離する「膜分離活性汚泥法」を採用し、②ドラムスクリーン(回転式異物除去装置)のウェッジワイヤーを独自の2系統式に改良したことであり、全国的にも珍しい画期的な仕組み。既存の汚水処理設備と比較して安価であるにもかかわらず、BOD(生物化学的酸素要求量)や大腸菌群等に係る汚水処理レベルも高く、更に廃棄物を最小限に抑えることができるため、ユーザや行政等関係機関から高い評価を得た。
3. 新連携計画では、これまで(有)今岡建機サービスが装置開発で蓄積した技術・ノウハウをベースとして、北海道立工業試験場や北海道立工業技術センターの技術指導、札幌北営(株)による水質実証実験を経て、①装置のユニット化、②工場等の既存設備(原水槽、沈殿槽等)へ接続可能なシステムとすることにより、大幅な工期短縮とコスト削減を図る。また、水産加工場以外の様々な排水処理に対応可能な汎用型汚水浄化システム装置を開発する。
4. 販路開拓にあたっては、トラックに積載可能な小型パッケージシステムを開発し、客先でのデモンストレーションを行う。当面のターゲットは、水産加工場など水質汚濁防止法に基づく特定施設を設置する道内約6,500箇所の事業所。その後、(株)カナモトの国内外の営業ネットワークを活かして、レンタルの事業化、農畜産物関連の排水処理等への用途拡大、道外・海外(中国等)への市場拡大を図る。海外展開については、北洋銀行国際部の助言・指導も得ながら進めていく。

水産加工場向け循環式廃水浄化システムユニット化フロー図





支援メニュー

【支援金融機関】 北洋銀行、北海道銀行、中小企業金融公庫

【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金 ②政府系金融機関の低利融資 ③信用保証の特例

コア企業の会社概要

企業名・代表者	有限会社今岡建機サービス 代表取締役 今岡 正裕	
所在地	北海道瀬棚郡今金町字田代233番地10	
創立	平成3年8月	
資本金・従業員数	1500万円	13名
TEL/FAX	0137-82-0676	0137-82-3348
e-mail	imaoka-soumu@ymail.plala.or.jp	